

# かんぽ生命のあゆみ



郵政創業150年

• 2022年（令和4年）プライム市場へ移行 ..... 2022

• 2021年（令和3年）郵政創業150年 ..... 2021



• 2019年（平成31年）株式2次売出し ..... 2019

• 2016年（平成28年）簡易生命保険誕生100周年 ..... 2016

• 2015年（平成27年）株式上場



2015

• 2007年（平成19年）郵政民営化

株式会社かんぽ生命保険として、生命保険業を開始

2007

2003 ..... • 2003年（平成15年）日本郵政公社発足

1949 ..... • 1949年（昭和24年）郵政省発足

1926 ..... • 1926年（大正15年）郵便年金事業創業

1916 ..... • 1916年（大正5年）簡易生命保険事業創業



# 数字で見るかんぽ生命

2025年3月末現在



創業  
**1916**年



お客さま数  
**1,881**万人



販売チャネル  
**20,348**局

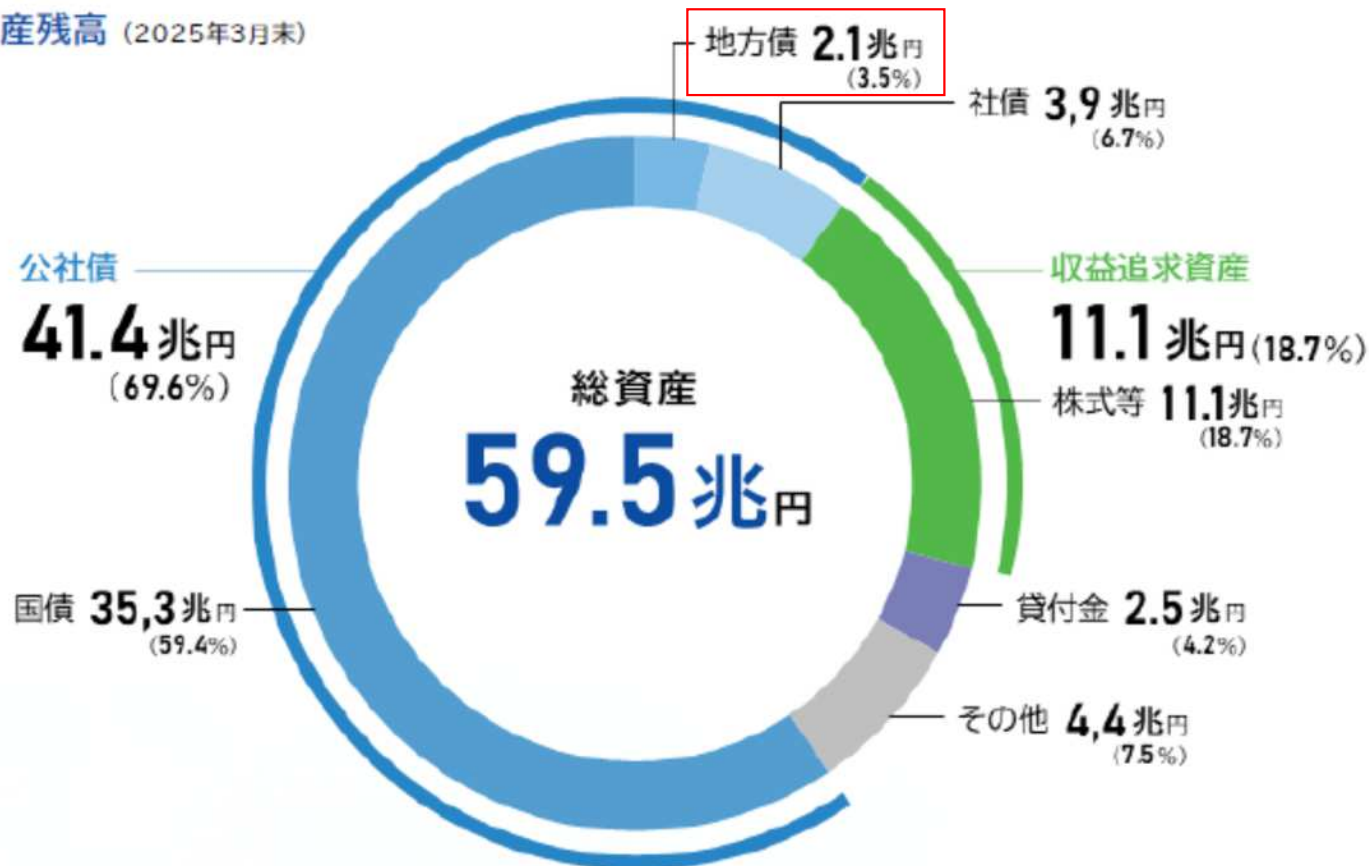


総資産  
**59.5**兆円



保険金・年金・給付金  
のお支払状況 ※  
**5.7**兆円

資産残高 (2025年3月末)



※ 2024年度の保険金・年金・給付金の合計。ただし、保険金には独立行政法人 郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構における解約還付金等を含む

# かんぽ生命のサステナブル投資

## ● かんぽ生命の資産運用における使命

### 経営理念

いつでもそばにいる。どこにいても支える。  
すべての人生を、守り続けたい。

#### “生命保険会社”として

将来の保険金等のお支払いに備え、  
お客さまからお預かりした  
保険料を大切に運用します

#### “ユニバーサルオーナー”として

投資額が大きく、資本市場全体に幅広く分散して  
運用する機関投資家として、  
経済・社会全体の持続的成長に貢献していきます

#### “上場企業”として

持続的な成長、  
中長期的な企業価値の向上を  
目指します

### 目指す未来

責任投資を通じた  
価値創造への  
アプローチ

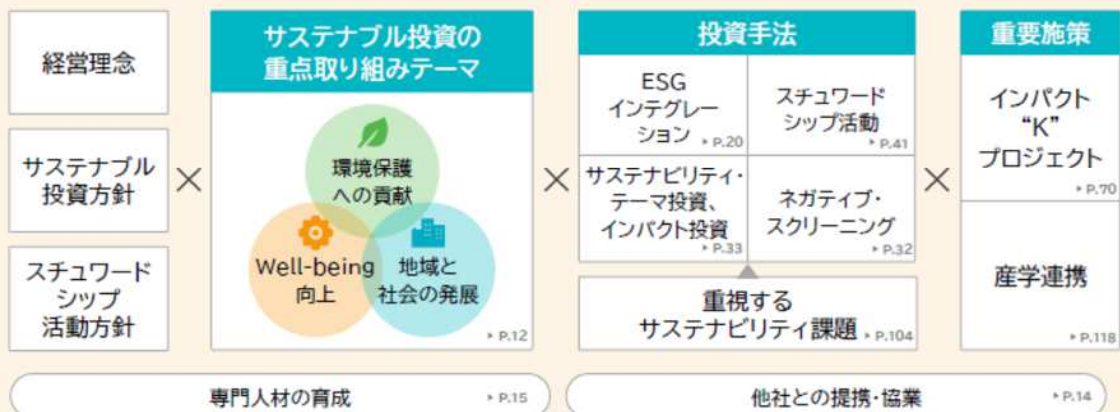
お客さまから  
お預かりした  
大切な保険料



幅広いアセット  
・  
高度な人材



### かんぽ生命らしい“あたたかさ”の感じられる投資



持続可能な  
社会の実現



長期的な  
投資成果の向上



# 地方債投資におけるエンゲージメント

## 地方公共団体との建設的な対話（エンゲージメント）

かんぼ生命は、前身である簡易生命保険時代を含め、創業以来百余年にわたり地方公共団体への投融資を行い、地域のインフラ整備や発展に貢献してきました。健全な保険事業を営みつつ、お客さまからお預かりした大切な保険料を原資とし、投融資を通じて地域・社会へ還流させ、貢献するといった精神は、現在もかんぼ生命における地方投融資の根幹に脈々と受け継がれています。現在、当社は国内最大規模の地方自治体に対する投資家として、地方債への投資による資金供給を行うだけでなく、中長期的な視点から自治体との対話を進め、地域のサステナビリティ推進と持続的な成長を後押ししています。



### 対話先の選定




「ゼロカーボンシティ」の宣言状況や「SDGs未来都市」の認定状況など、サステナビリティに関する取り組み状況を定期的に確認のうえ、選定しています。

これまで(2021年4月～2025年3月)に29団体、のべ57回の対話を実施しました。また、2025年度からは新たに、2027年度までの3年間にすべての市場公募団体との対話を依頼することとしました。期間中、更なる対話が必要であると考えられる地方公共団体とは、より実効性のある取り組みにつながるよう関係性の維持・構築を目指します。2025年4月から12月までに17団体との対話を行いました。

### 対話方針

地方公共団体が開示している情報のほか、監督府省庁による「SDGs未来都市」等の選定・認定状況なども参考に、当社が重視する3つのテーマに関する取り組みを確認しています。対話においては、各団体の担当者と相互理解を深めながら、投資家としての要望や他団体の好事例の紹介を通じて、取り組みの推進や情報開示の拡充を後押しします。

### 対話のポイント

 Well-being向上	<ul style="list-style-type: none"><li>教育・子育て支援を重視し、育児へのサポート体制や待機児童対策に関する定量的な指標(待機児童数(保育所、学童)や育児休業取得率等)から現在の課題や取り組み状況を確認しています。</li></ul>
 地域と社会の発展	<ul style="list-style-type: none"><li>SDGs達成への取り組みを重視し、主に「SDGs未来都市」の認定状況を軸に対話を行います。</li><li>選定されている団体に関しては内閣府に提出されている進捗評価シート(フォローアップシート)から、選定されていない団体に関しては総合計画などから同テーマに関連する事業の計画や実施状況を確認しています。</li></ul>
 環境保護への貢献	<ul style="list-style-type: none"><li>気候変動への対応を重視し、主に地方公共団体による「ゼロカーボンシティ宣言」を軸に対話を行います。</li><li>宣言している団体に関しては各団体が公表する関連資料等から、宣言していない団体に関しては総合計画などから同テーマに関連する事業の計画や実施状況を確認しています。</li></ul>

## ラジオ体操

ラジオ体操は、当社の起源である通信省簡易保険局が1928年(昭和3年)に「国民保健体操」として制定し、日本放送協会のラジオ放送で広く普及しました。当社は、通信省やその流れをくむ郵政省・郵政事業庁・日本郵政公社が担ってきた役割を受け継ぎ、NHKおよびNPO法人全国ラジオ体操連盟と共同でラジオ体操の普及促進に取り組んでいます。人生100年時代において、皆さまの健康づくりや地域コミュニティの活性化などの社会的課題の解決にお役立ていただくため、引き続きラジオ体操が持つあたたかさや魅力を伝えていきます。

かんぽ生命保険 ポータルサイト <ラジオ体操・みんなの体操>

「1000万人ラジオ体操・みんなの体操」  
「全国小学校ラジオ体操コンクール」などの  
かんぽ生命が実施しているラジオ体操のイベント情報  
やお役立ちコンテンツをご紹介します。

<https://www.jp-life.japanpost.jp/radio/index.html>



NP かんぽ生命 INSURANCE かんぽ生命 は2026年シーズンより  の

# スポンサー企業となりました!

画像は制作中のイメージです

## かんぽ生命は“中小企業対応のスペシャリスト”

**地** 域社会と一体となって、スポーツ文化の振興に寄与する川崎フロンターレ。私たちは「**FOOTBALL TOGETHER**」の精神に共感し、その挑戦を支えます。



**地** 域で活躍する法人さまの課題に幅広く応えるため全国77の法人専門部署を持つかんぽ生命。企業の持続的成長や経営者・従業員のみなさまの豊かな生活をお守りします。

NP かんぽ生命 INSURANCE  
ホームページはコチラ



  
ホームページはコチラ



株式会社かんぽ生命保険川崎支店  
法人営業部 <担当者氏名欄>

住 所:川崎市川崎区日進町7-1 川崎日進町ビルディング13F  
電 話:044-222-3085(8:30~17:15)